

大崎地方合併協議会
第3回地域医療検討小委員会

日時：平成15年10月11日(土)

午後3時~

場所：宮城県古川合同庁舎1階大会議室

次 第

1. 開 会

2. 開会挨拶

3. 協議事項

(1) 1市6町の地域医療の現状 について 別紙1

(2) 救急医療について(救命救急センター関連) 別紙2

(3) 住民が求める地域医療について(意見交換)

(4) 首長が求める地域医療について(意見交換)

(5) 新市における地域医療・救急医療のあるべき姿について(全体討議)

(5) 次回会議の開催について 別紙3

(6) その他

4. 閉会挨拶

5. 閉 会

大崎地方 1 市 6 町

高齢者保健福祉事業計画・介護保険事業計画における
被保険者数および要介護者等数の推計

1 . 古川市	1
2 . 鳴子町	2
3 . 鹿島台町	3
4 . 岩出山町	4
5 . 田尻町	5
6 . 松山町	6
7 . 三本木町	7
8 . 1 市 6 町の状況	8

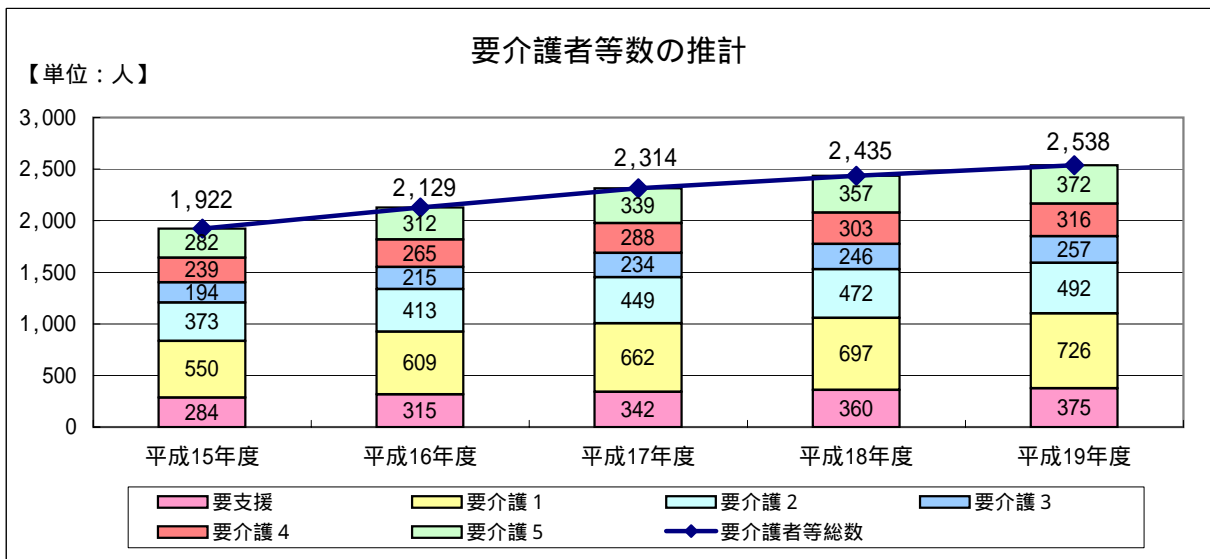
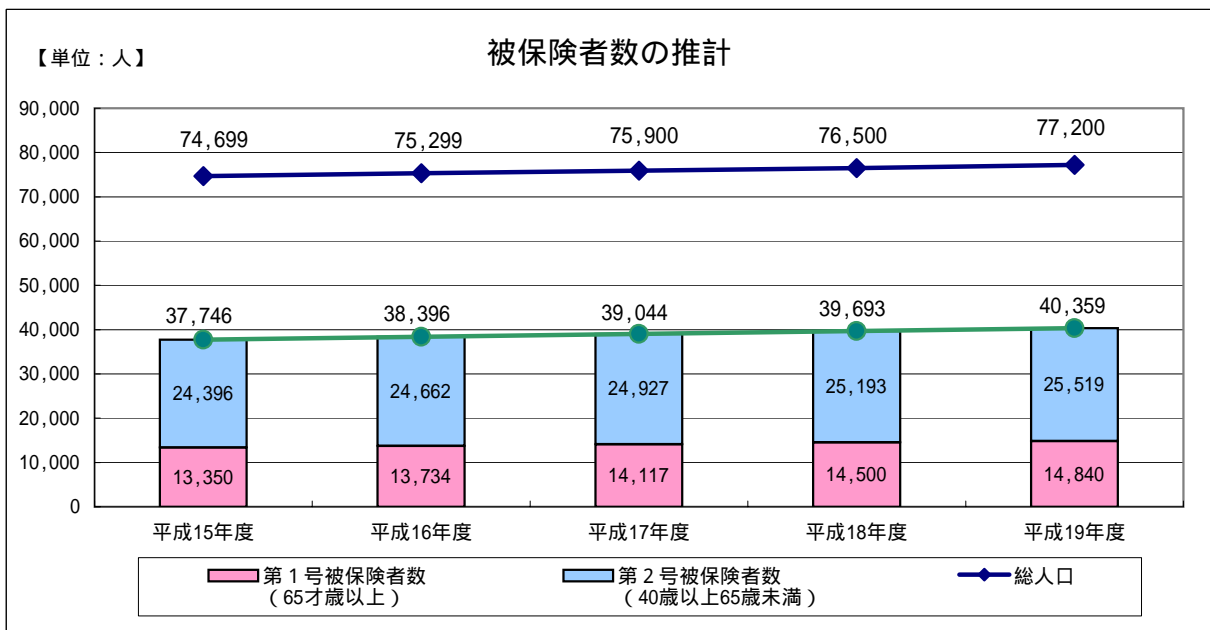
古川市

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	74,699	75,299	75,900	76,500	77,200
被保険者総数	37,746	38,396	39,044	39,693	40,359
第1号被保険者数 (65才歳以上)	13,350	13,734	14,117	14,500	14,840
65歳以上75歳未満	7,433	7,386	7,338	7,291	7,267
75歳以上	5,917	6,348	6,779	7,209	7,573
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	24,396	24,662	24,927	25,193	25,519

要介護者等総数	1,922	2,129	2,314	2,435	2,538
要支援	284	315	342	360	375
要介護1	550	609	662	697	726
要介護2	373	413	449	472	492
要介護3	194	215	234	246	257
要介護4	239	265	288	303	316
要介護5	282	312	339	357	372

平成15年3月 古川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より



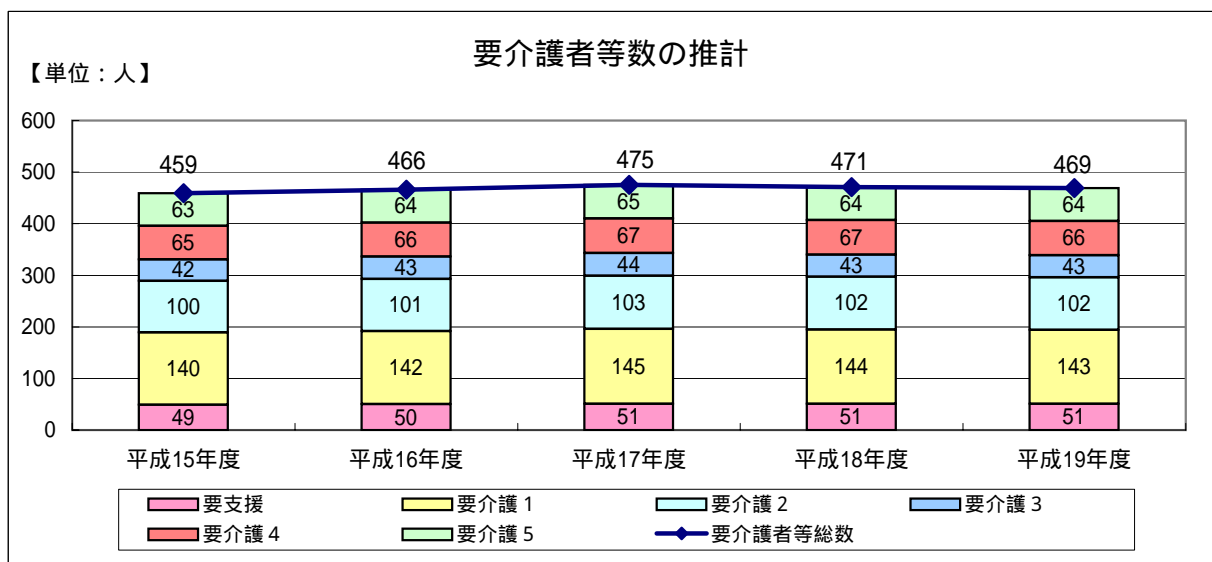
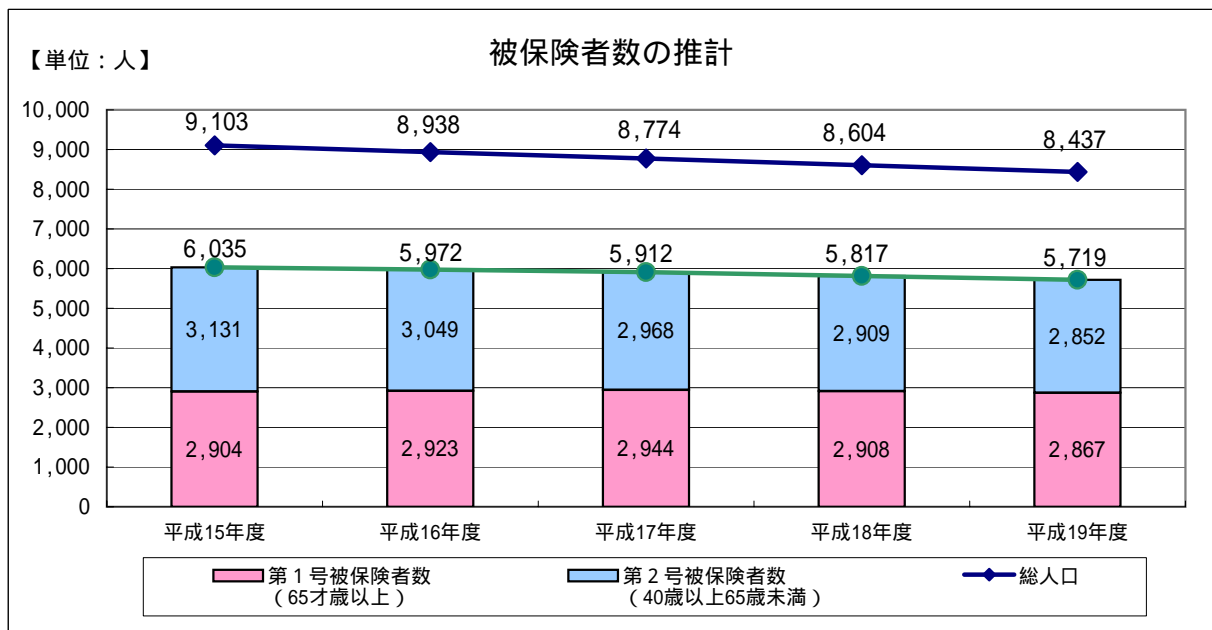
鳴子町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	9,103	8,938	8,774	8,604	8,437
被保険者総数	6,035	5,972	5,912	5,817	5,719
第1号被保険者数 (65才歳以上)	2,904	2,923	2,944	2,908	2,867
65歳以上75歳未満	1,576	1,544	1,514	1,440	1,363
75歳以上	1,328	1,379	1,430	1,468	1,504
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	3,131	3,049	2,968	2,909	2,852

要介護者等総数	459	466	475	471	469
要支援	49	50	51	51	51
要介護1	140	142	145	144	143
要介護2	100	101	103	102	102
要介護3	42	43	44	43	43
要介護4	65	66	67	67	66
要介護5	63	64	65	64	64

平成15年3月 鳴子町介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画より



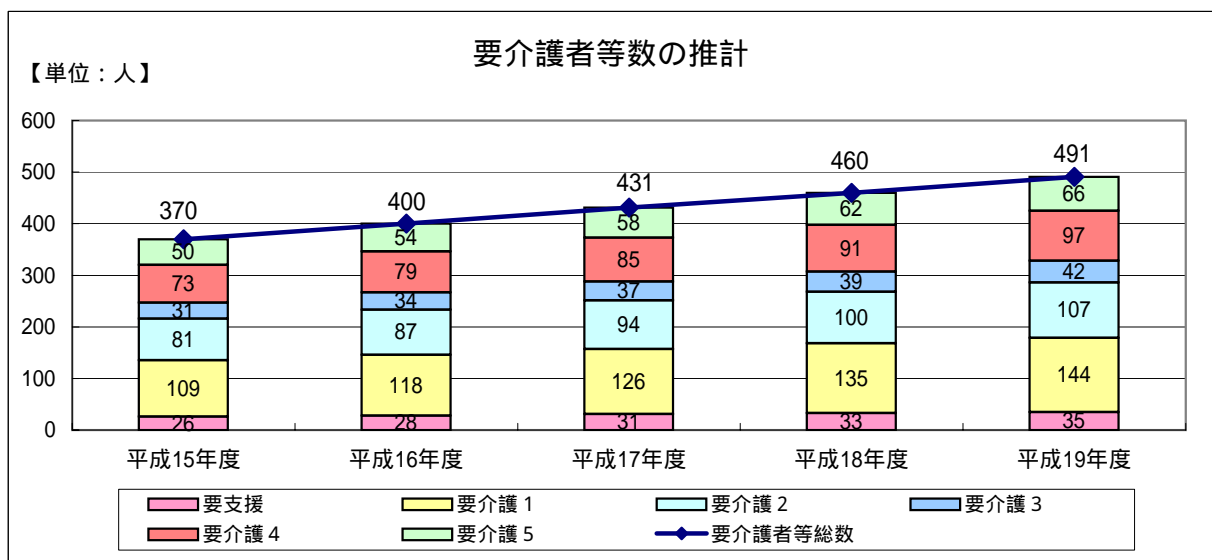
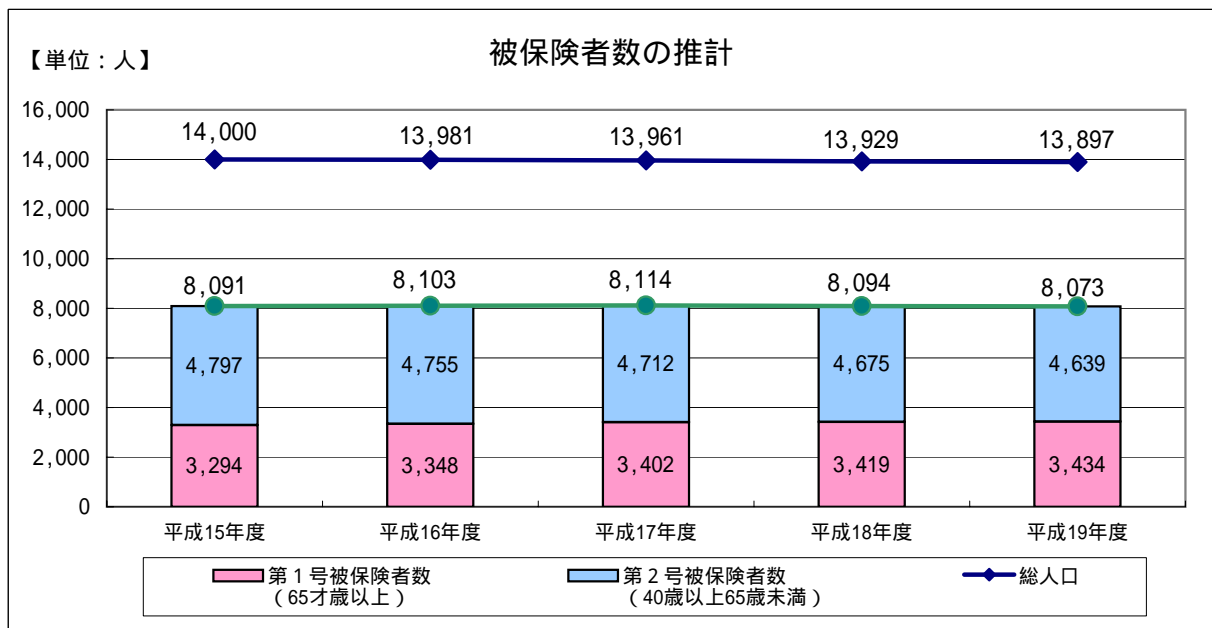
鹿島台町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	14,000	13,981	13,961	13,929	13,897
被保険者総数	8,091	8,103	8,114	8,094	8,073
第1号被保険者数 (65才歳以上)	3,294	3,348	3,402	3,419	3,434
65歳以上75歳未満	1,790	1,766	1,742	1,709	1,674
75歳以上	1,504	1,582	1,660	1,710	1,760
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	4,797	4,755	4,712	4,675	4,639

要介護者等総数	370	400	431	460	491
要支援	26	28	31	33	35
要介護1	109	118	126	135	144
要介護2	81	87	94	100	107
要介護3	31	34	37	39	42
要介護4	73	79	85	91	97
要介護5	50	54	58	62	66

平成15年3月 鹿島台町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より



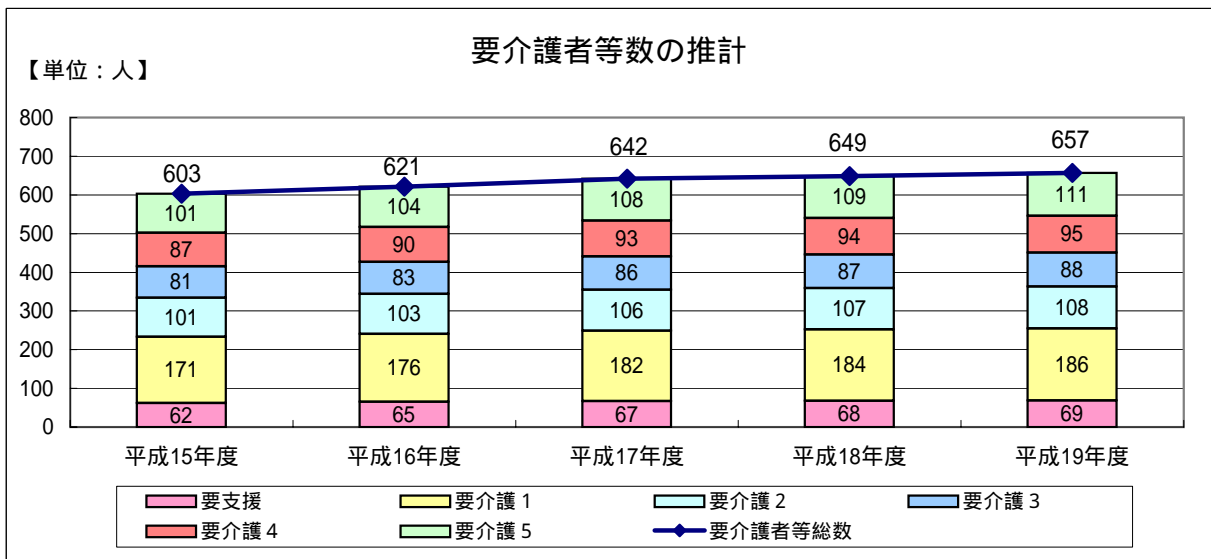
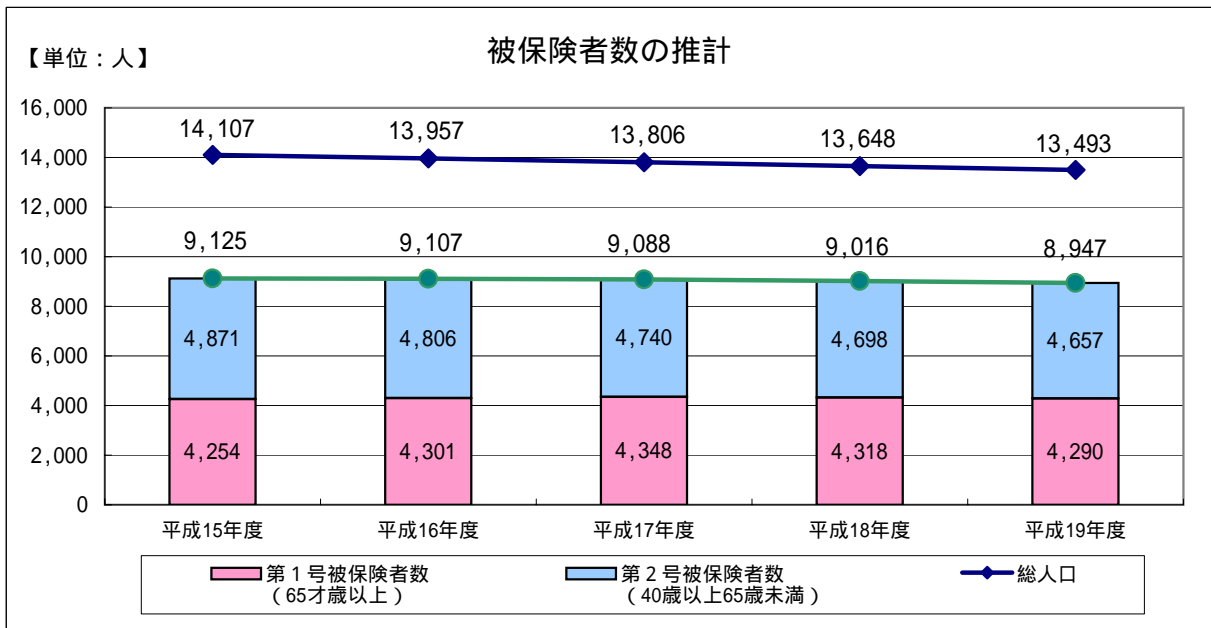
岩出山町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	14,107	13,957	13,806	13,648	13,493
被保険者総数	9,125	9,107	9,088	9,016	8,947
第1号被保険者数 (65才歳以上)	4,254	4,301	4,348	4,318	4,290
65歳以上75歳未満	2,210	2,150	2,090	2,001	1,914
75歳以上	2,044	2,151	2,258	2,317	2,376
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	4,871	4,806	4,740	4,698	4,657

要介護者等総数	603	621	642	649	657
要支援	62	65	67	68	69
要介護1	171	176	182	184	186
要介護2	101	103	106	107	108
要介護3	81	83	86	87	88
要介護4	87	90	93	94	95
要介護5	101	104	108	109	111

平成15年3月 岩出山町保健医療福祉基本計画より



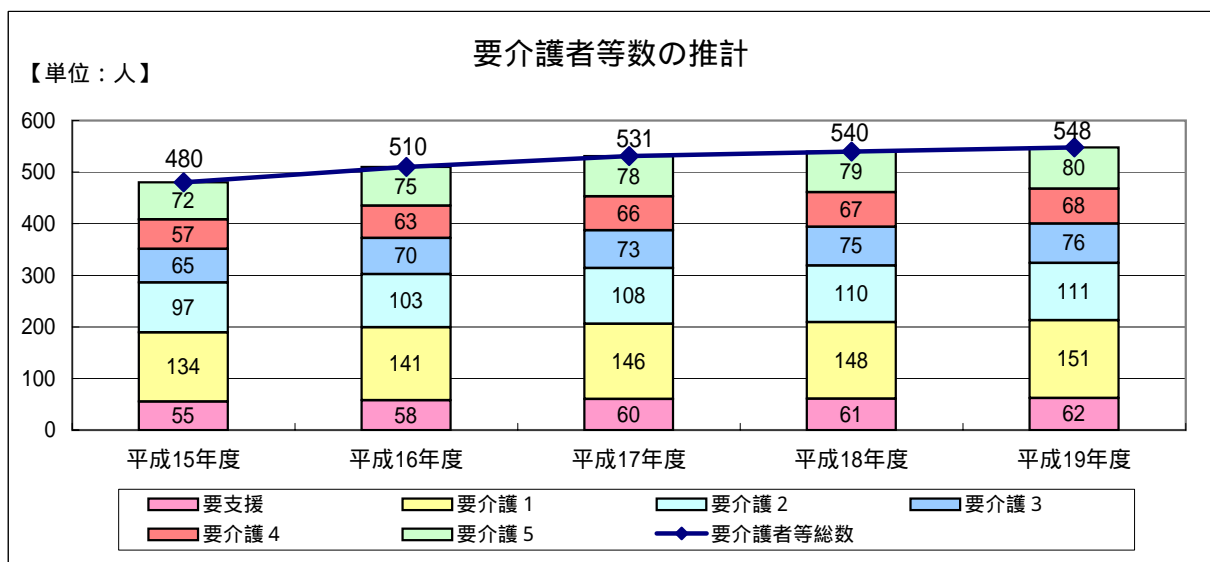
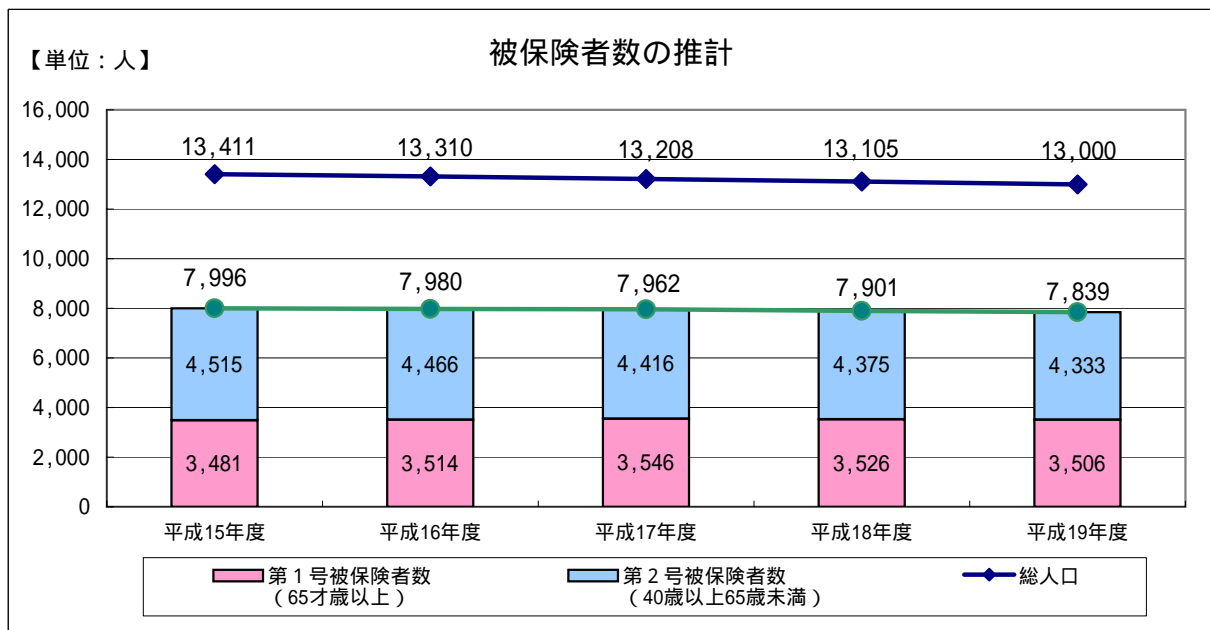
田尻町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	13,411	13,310	13,208	13,105	13,000
被保険者総数	7,996	7,980	7,962	7,901	7,839
第1号被保険者数 (65才歳以上)	3,481	3,514	3,546	3,526	3,506
65歳以上75歳未満	1,854	1,814	1,774	1,701	1,628
75歳以上	1,627	1,700	1,772	1,825	1,878
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	4,515	4,466	4,416	4,375	4,333

要介護者等総数	480	510	531	540	548
要支援	55	58	60	61	62
要介護1	134	141	146	148	151
要介護2	97	103	108	110	111
要介護3	65	70	73	75	76
要介護4	57	63	66	67	68
要介護5	72	75	78	79	80

平成15年3月 田尻町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より



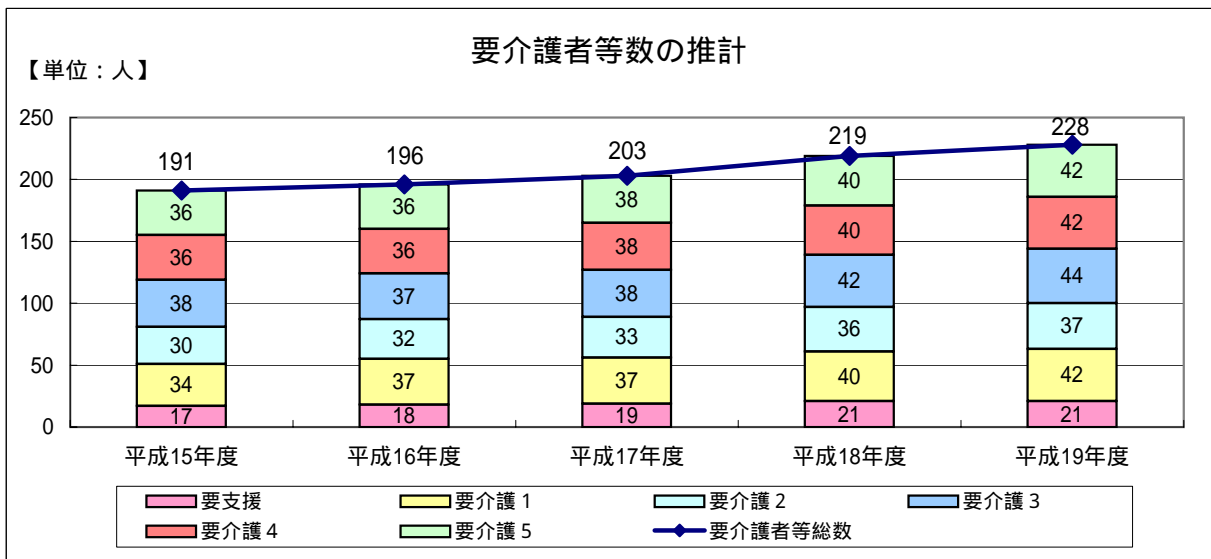
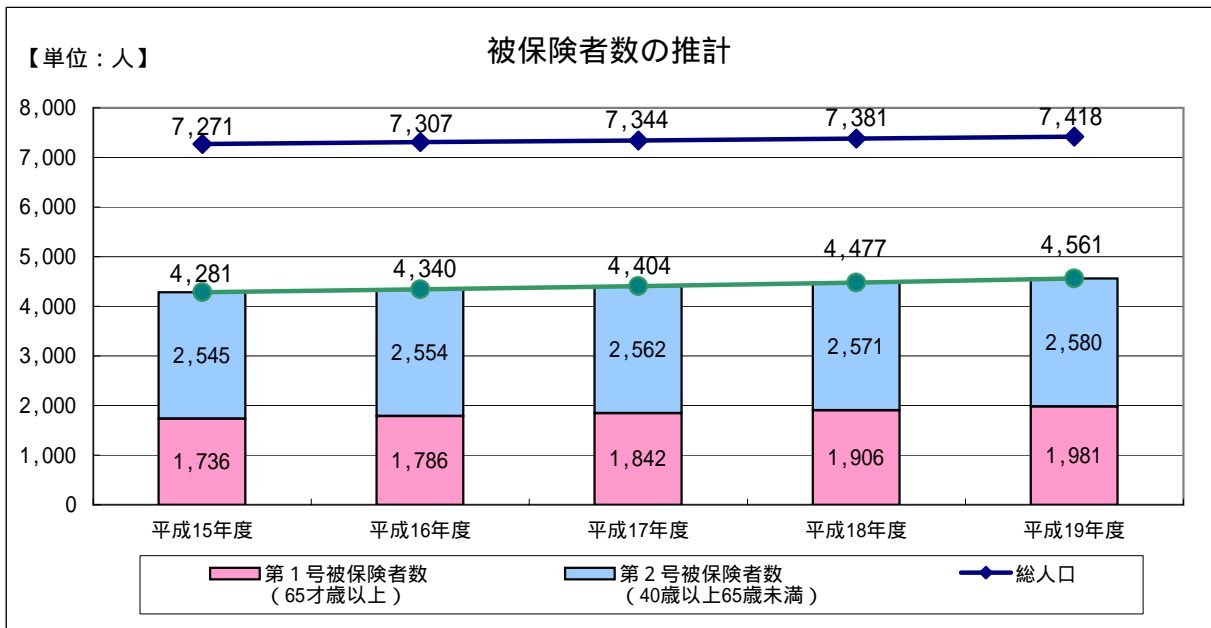
松山町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	7,271	7,307	7,344	7,381	7,418
被保険者総数	4,281	4,340	4,404	4,477	4,561
第1号被保険者数 (65歳以上)	1,736	1,786	1,842	1,906	1,981
65歳以上75歳未満	964	961	957	956	954
75歳以上	772	825	885	950	1,027
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	2,545	2,554	2,562	2,571	2,580

要介護者等総数	191	196	203	219	228
要支援	17	18	19	21	21
要介護1	34	37	37	40	42
要介護2	30	32	33	36	37
要介護3	38	37	38	42	44
要介護4	36	36	38	40	42
要介護5	36	36	38	40	42

平成15年3月 松山町老人保健福祉計画・介護保険事業計画より



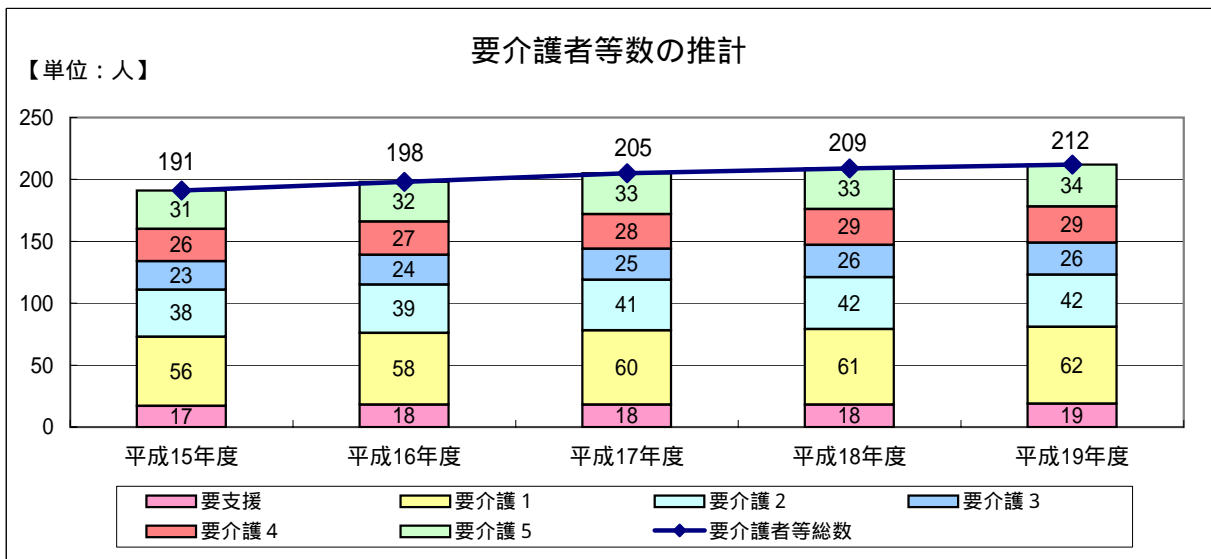
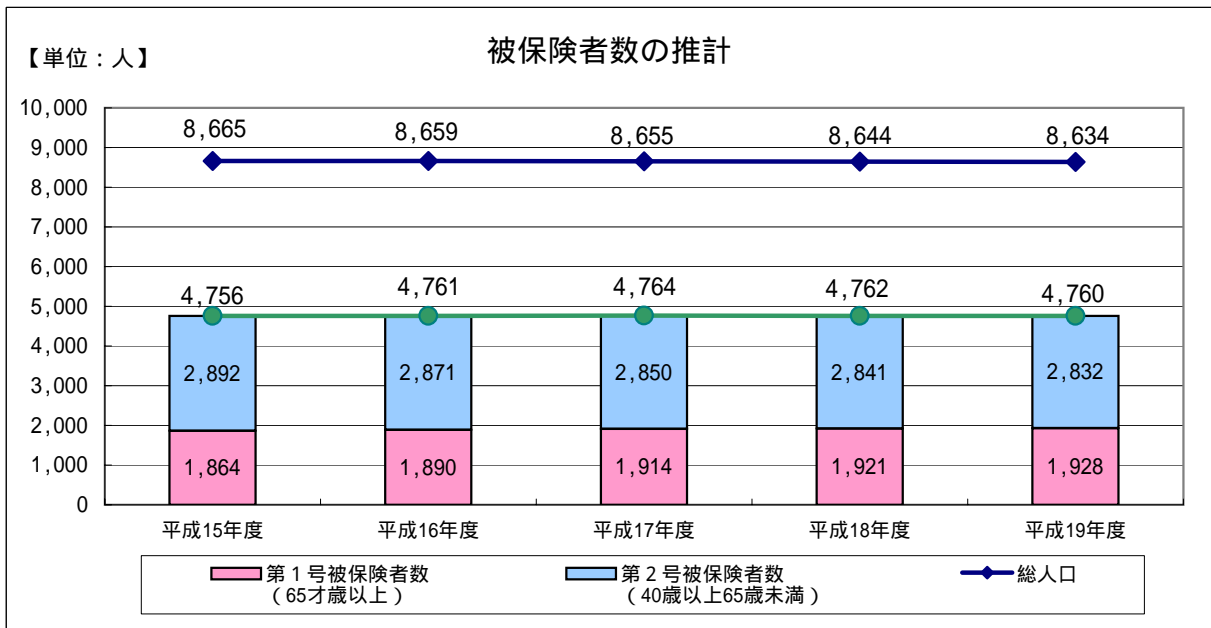
三本木町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	8,665	8,659	8,655	8,644	8,634
被保険者総数	4,756	4,761	4,764	4,762	4,760
第1号被保険者数 (65才歳以上)	1,864	1,890	1,914	1,921	1,928
65歳以上75歳未満	1,008	993	977	958	939
75歳以上	856	897	937	963	989
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	2,892	2,871	2,850	2,841	2,832

要介護者等総数	191	198	205	209	212
要支援	17	18	18	18	19
要介護1	56	58	60	61	62
要介護2	38	39	41	42	42
要介護3	23	24	25	26	26
要介護4	26	27	28	29	29
要介護5	31	32	33	33	34

2003年3月 三本木町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より

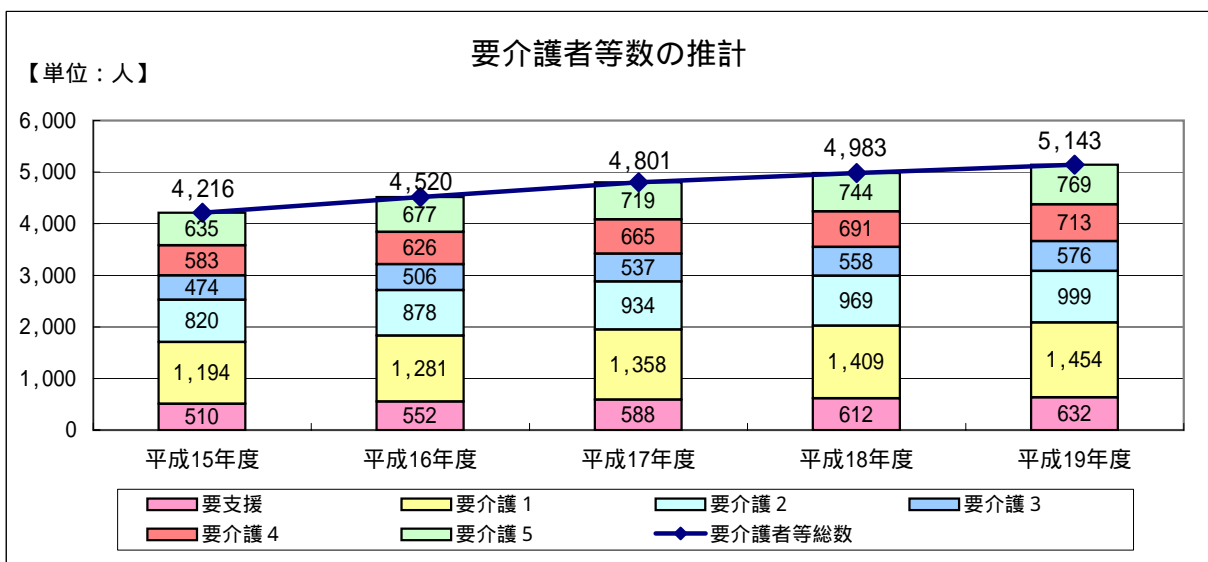
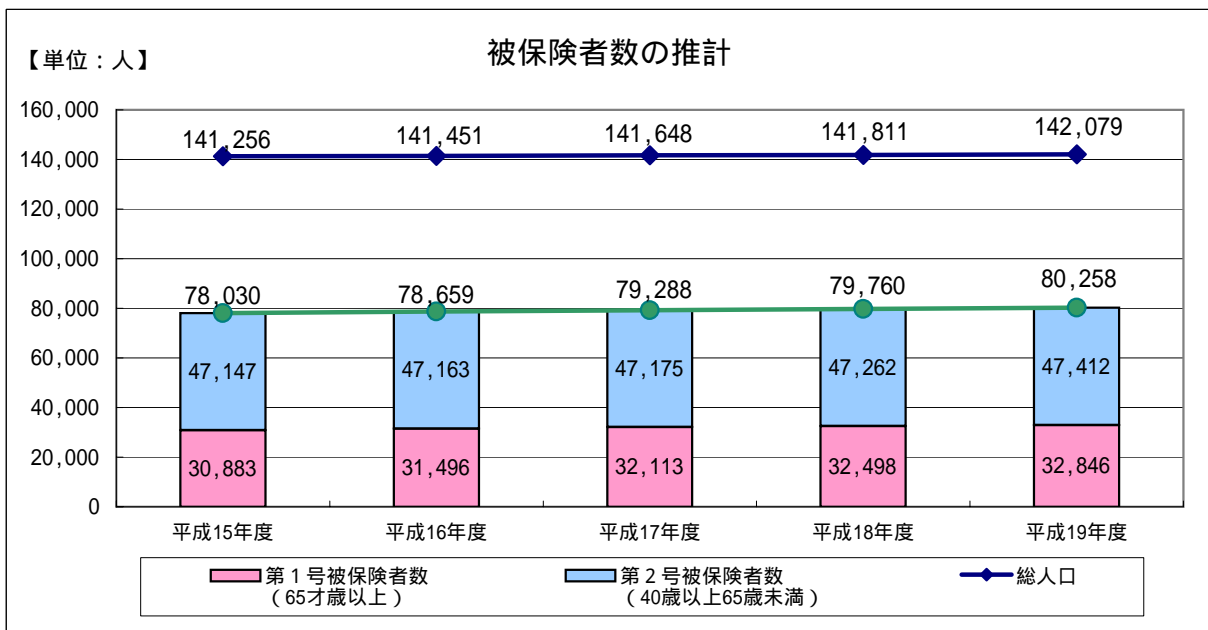


1市6町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口	141,256	141,451	141,648	141,811	142,079
被保険者総数	78,030	78,659	79,288	79,760	80,258
第1号被保険者数 (65才歳以上)	30,883	31,496	32,113	32,498	32,846
65歳以上75歳未満	16,835	16,614	16,392	16,056	15,739
75歳以上	14,048	14,882	15,721	16,442	17,107
第2号被保険者数 (40歳以上65歳未満)	47,147	47,163	47,175	47,262	47,412

要介護者等総数	4,216	4,520	4,801	4,983	5,143
要支援	510	552	588	612	632
要介護1	1,194	1,281	1,358	1,409	1,454
要介護2	820	878	934	969	999
要介護3	474	506	537	558	576
要介護4	583	626	665	691	713
要介護5	635	677	719	744	769



大崎地方 1 市 6 町

高齢者保健福祉事業計画・介護保険事業計画における
介護サービス量の見込み及び充足率

介護サービス量の見込み	1
施設介護サービスの充足率	2
介護施設一覧	3

古川市

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	1,017	1,142	1,251	1,313	1,371
介護老人福祉施設	110	110	110	115	115
介護老人保健施設	210	215	220	225	230
介護療養型医療施設	40	41	42	43	44
施設介護サービス	360	366	372	383	389

平成15年3月 古川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より

鳴子町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	243	251	257	265	270
介護老人福祉施設	51	52	53	56	57
介護老人保健施設	9	10	10	11	11
介護療養型医療施設	33	33	33	34	34
施設介護サービス	93	95	96	101	102

平成15年3月 鳴子町介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画より

鹿島台町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	202	218	238	258	277
介護老人福祉施設	39	43	46	49	52
介護老人保健施設	35	37	38	38	39
介護療養型医療施設	14	16	17	18	19
施設介護サービス	88	96	101	105	110

平成15年3月 鹿島台町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より

岩出山町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	483	502	521	522	524
介護老人福祉施設	58	59	60	61	62
介護老人保健施設	45	45	40	45	50
介護療養型医療施設	15	15	20	20	20
施設介護サービス	118	119	120	126	132

平成15年3月 岩出山町保健医療福祉基本計画より

田尻町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	277	294	307	311	311
介護老人福祉施設	40	42	44	44	45
介護老人保健施設	40	42	44	46	50
介護療養型医療施設	12	13	13	14	15
施設介護サービス	92	97	101	104	110

平成15年3月 田尻町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より

松山町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	108	118	125	128	131
介護老人福祉施設	27	28	28	28	28
介護老人保健施設	12	12	12	14	14
介護療養型医療施設	9	9	9	10	10
施設介護サービス	48	49	49	52	52

平成15年3月 松山町老人保健福祉計画・介護保険事業計画より

三本木町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	102	105	107	110	114
介護老人福祉施設	30	30	42	43	44
介護老人保健施設	26	34	32	33	34
介護療養型医療施設	2	2	2	3	3
施設介護サービス	58	66	76	79	81

2003年3月 三本木町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画より

1市6町

【単位：人】

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
居宅介護サービス	2,432	2,630	2,806	2,907	2,998
介護老人福祉施設	355	364	383	396	403
介護老人保健施設	377	395	396	412	428
介護療養型医療施設	125	129	136	142	145
施設介護サービス	857	888	915	950	976

【平成15年度 1市6町における施設介護サービスの充足率】

	入所者数 又は病床数	H15見込み(人)	充足率
介護老人福祉施設	498	355	140.3%
介護老人保健施設	442	377	117.2%
介護療養型医療施設	87	125	69.6%

【平成19年度 1市6町における施設介護サービスの充足率(想定)】

	入所者数 又は病床数	H19見込み(人)	充足率
介護老人福祉施設	498	403	123.6%
介護老人保健施設	442	428	103.3%
介護療養型医療施設	87	145	60.0%

施設一覧は次頁

介護老人福祉施設一覧表

(平成15年4月22日現在)

	施設名称	所在地	入居者数	電話番号
古川市	特別養護老人ホーム 大崎ホーム	古川市下中目字赤山廻 5 1 番地	50	23-9831
	(社・福)大崎誠心会 特別養護老人ホーム 寿楽苑	古川市小野字上蝦沢 5 7 番地	70	28-1600
三本木町	(社・福)永楽会 特別養護老人ホーム 百才館	三本木町三本木字大豆坂 2 4 番地の 3	20	53-1261
鹿島台町	(社・福)宮城県福祉事業団 宮城県敬風園	鹿島台町平渡字上敷 1 9 番地 7	200	56-9605
岩出山町	(社・福)加美玉造福祉会 特別養護老人ホーム 岩出の郷	岩出山町字下川原町 8 4 番地の 4	54	72-1201
鳴子町	(社・福)加美玉造福祉会 特別養護老人ホーム りんどう苑	鳴子町大口字石ノ梅 3 3 番地	50	84-7451
田尻町	(社・福)田尻福祉会 特別養護老人ホーム かごぼうの里	田尻町通木字中崎東 2 4 番地 2	54	38-1203

合計 498

介護老人保健施設一覧表

(平成15年5月20日現在)

	施設名称	所在地	入居者数	電話番号
古川市	老人保健施設 アミスタ	古川市浦町 1 番 3 7 号	82	22-0015
	老人保健施設 さくら	古川市小稲葉町 5 番地 2 5 号	70	23-8183
	介護老人保健施設リハビリパークあやめ	古川市旭三丁目 6 番 1 号	100	22-7600
	介護老人保健施設 庭の里	古川市江合本町二丁目 2 番 5 号	100	21-8460
松山町	介護老人保健施設ヒューマンシティ松山	松山町千石字広田 3 5 番地	90	55-2603

合計 442

介護療養型医療施設一覧表

(平成15年4月22日現在)

	施設名称	所在地	病床数	電話番号
古川市	(財)宮城厚生協会 古川民主病院	古川市駅東二丁目11番14号	24	23-5521
鹿島台町	鹿島台町国民健康保険病院	鹿島台町平渡字東要害 2 0 番地	17	56-2611
鳴子町	町立鳴子温泉病院	鳴子町字未沢 1 番地	40	82-2311
岩出山町	岩出山町民病院	岩出山町字浦小路 4 4 番地	6	72-1355

合計 87

独立行政法人 福祉医療機構運営のワムネット(ホームページ)より

古川市立病院 救命救急センター

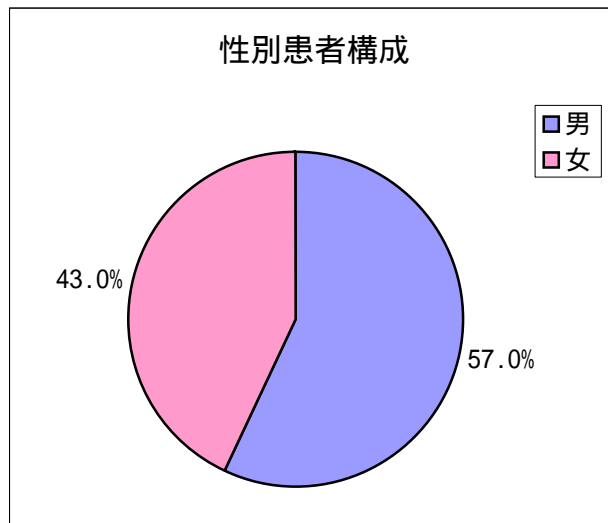
平成14年度統計患者数

1 . 男女別	1
2 . 地区別	1
3 . 搬送形態別	2
4 . 入院外来別	2

男女別患者数

(人)

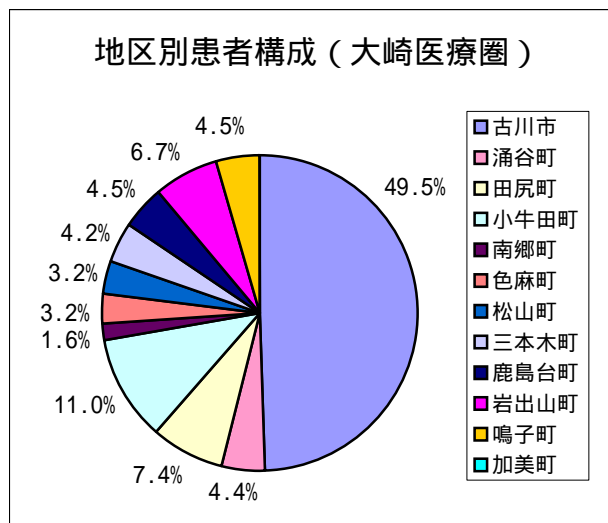
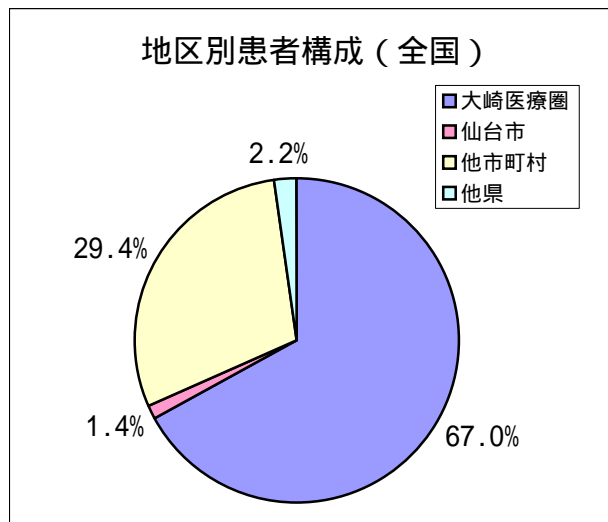
男	3,859
女	2,907
合計	6,766



地区別患者数

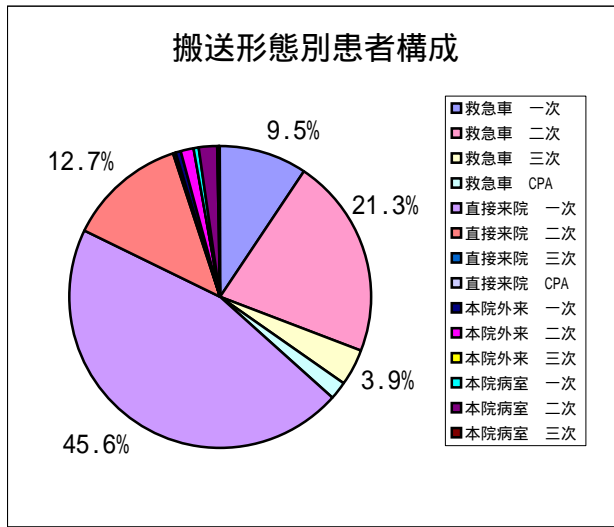
(人)

大崎医療圏	4,533
古川市	2,244
涌谷町	199
田尻町	335
小牛田町	497
南郷町	71
色麻町	145
松山町	143
三本木町	189
鹿島台町	203
岩出山町	303
鳴子町	204
加美町	0
仙台市	93
他市町村	1,989
他県	151
合計	6,766



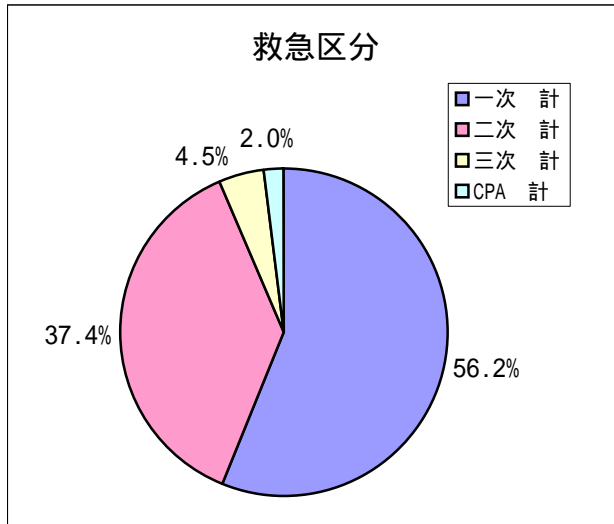
搬送形態別患者数

救急車 一次	640
救急車 二次	1,444
救急車 三次	263
救急車 CPA	131
直接来院 一次	3,087
直接来院 二次	857
直接来院 三次	19
直接来院 CPA	1
本院外来 一次	50
本院外来 二次	91
本院外来 三次	2
本院病室 一次	25
本院病室 二次	138
本院病室 三次	18
合計	6,766



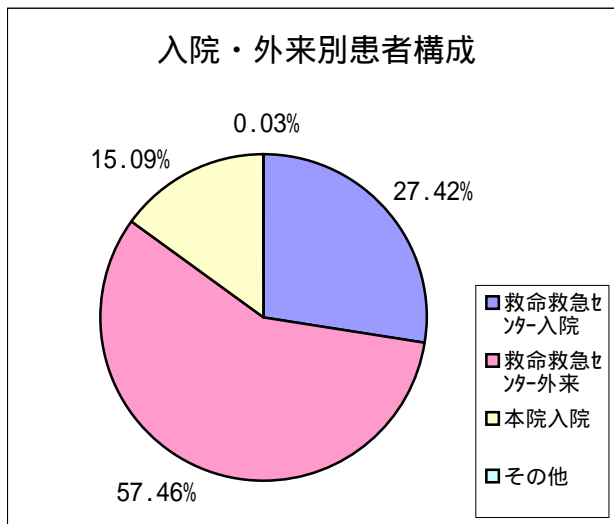
救急区分

一次 計	3,802
二次 計	2,530
三次 計	302
CPA 計	132
合計	6,766



搬送形態別患者数

救命救急センター入院	1,855
救命救急センター外来	3,888
本院入院	1,021
その他	2
合計	6,766



古川市立病院 平成14年度延べ患者数

入院患者数

区分		内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	泌尿器科	整形外科	リハビリ科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	歯科口腔外科	人工臓器透析	形成外科	放射線科	メンタルケア	感染症	合計	前年度比	平成13年度
累計	全体	40,206	16,404	13,019	6,499	21,617	10,701	6,744	12,908	2,071	8,617	5,357	1,490	799	0	0	863	3	0	0	147,298	1	139,496
	本院	37,032	14,752	12,449	6,296	20,554	8,563	6,738	12,517	2,071	8,617	5,323	1,487	799	0	0	839	3	0	0	138,040	1	130,594
	救急	3,174	1,652	570	203	1,063	2,138	6	391	0	0	34	3	0	0	0	24	0	0	0	9,258	1	8,902
一日平均	全体	110.15	44.94	35.67	17.81	59.22	29.32	18.48	35.36	5.67	23.61	14.68	4.08	2.19	0.00	0.00	2.36	0.01	0.00	0.00	403.56	1.06	382.18
	本院	101.46	40.42	34.11	17.25	56.31	23.46	18.46	34.29	5.67	23.61	14.58	4.07	2.19	0.00	0.00	2.30	0.01	0.00	0.00	378.19	1.06	357.79
	救急	8.70	4.53	1.56	0.56	2.91	5.86	0.02	1.07	0.00	0.00	0.09	0.01	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	25.36	1.04	24.39
比率	全体	27.30%	11.14%	8.84%	4.41%	14.68%	7.26%	4.58%	8.76%	1.41%	5.85%	3.64%	1.01%	0.54%	0.00%	0.00%	0.59%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%	-	100.00%
	本院	25.14%	10.02%	8.45%	4.27%	13.95%	5.81%	4.57%	8.50%	1.41%	5.85%	3.61%	1.01%	0.54%	0.00%	0.00%	0.57%	0.00%	0.00%	0.00%	93.71%	-	93.62%
	救急	2.15%	1.12%	0.39%	0.14%	0.72%	1.45%	0.00%	0.27%	0.00%	0.00%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	6.29%	-	6.38%

外来患者数

区分		内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	泌尿器科	整形外科	リハビリ科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	歯科口腔外科	人工臓器透析	形成外科	放射線科	メンタルケア	感染症	合計	前年度比	平成13年度
累計	全体	63,730	13,409	12,405	12,552	19,474	6,323	13,511	19,037	1,112	6,803	12,497	15,415	18,399	4,538	12,163	1,654	3,403	8,230	0	244,655	1	255,607
	本院	62,505	13,192	12,267	11,617	18,919	6,234	13,418	18,826	1,112	6,776	12,374	15,335	18,375	4,536	12,163	1,640	3,403	8,164	0	240,856	1	252,397
	救急	1,225	217	138	935	555	89	93	211	0	27	123	80	24	2	0	14	0	66	0	3,799	1	3,210
一日平均	全体	258.48	54.44	50.45	49.98	78.74	25.69	55.02	77.42	4.54	27.73	50.84	62.81	75.07	18.52	49.64	6.73	13.89	33.50	0.00	993.49	0.96	1,038.99
	本院	255.12	53.84	50.07	47.42	77.22	25.44	54.77	76.84	4.54	27.66	50.51	62.59	75.00	18.51	49.64	6.69	13.89	33.32	0.00	983.09	0.95	1,030.19
	救急	3.36	0.59	0.38	2.56	1.52	0.24	0.25	0.58	0.00	0.07	0.34	0.22	0.07	0.01	0.00	0.04	0.00	0.18	0.00	10.41	1.18	8.79
比率	全体	26.05%	5.48%	5.07%	5.13%	7.96%	2.58%	5.52%	7.78%	0.45%	2.78%	5.11%	6.30%	7.52%	1.85%	4.97%	0.68%	1.39%	3.36%	0.00%	100.00%	-	100.00%
	本院	25.55%	5.39%	5.01%	4.75%	7.73%	2.55%	5.48%	7.69%	0.45%	2.77%	5.06%	6.27%	7.51%	1.85%	4.97%	0.67%	1.39%	3.34%	0.00%	98.45%	-	98.74%
	救急	0.50%	0.09%	0.06%	0.38%	0.23%	0.04%	0.04%	0.09%	0.00%	0.01%	0.05%	0.03%	0.01%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.03%	0.00%	1.55%	-	1.26%

古川市立病院 救命救急センター

経営分析

この資料は、古川市立病院救命救急センターの過去4年間における経営データについて「推移の確認」を行ったものである。

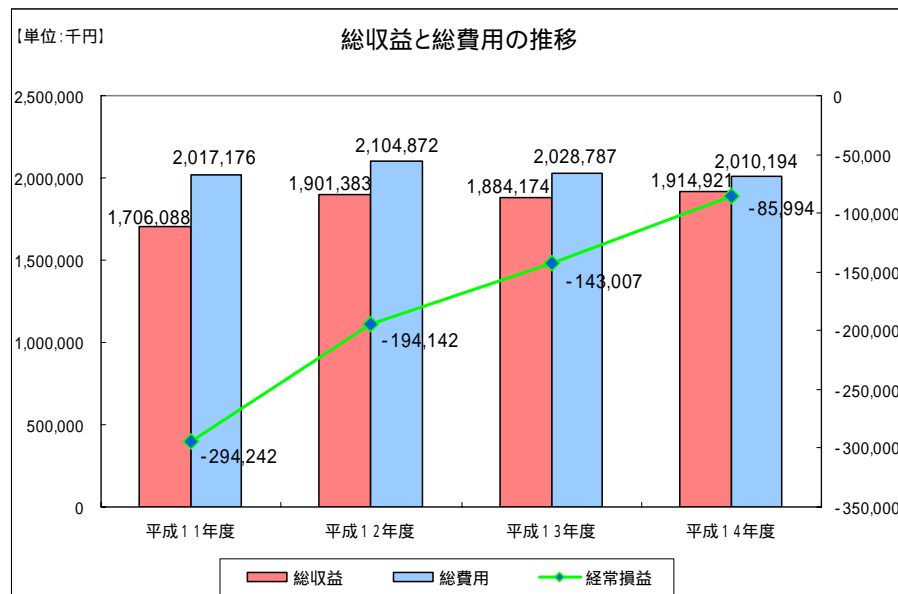
(1) 総収益と総費用の推移	1
(2) 医業収益と医業費用の推移	1
(3) 医業収支比率と医業収益に対する費用比率の推移	2
(4) 救急医療費負担金の推移	3
(5) 各科別医業収益(平成14年度)	4
(6) その他医業収益(平成14年度)	4
(7) 診療収益構成比(平成14年度)	5
(8) 損益収支の推移	5

・古川市立病院 救命救急センター

1. 収益状況の分析

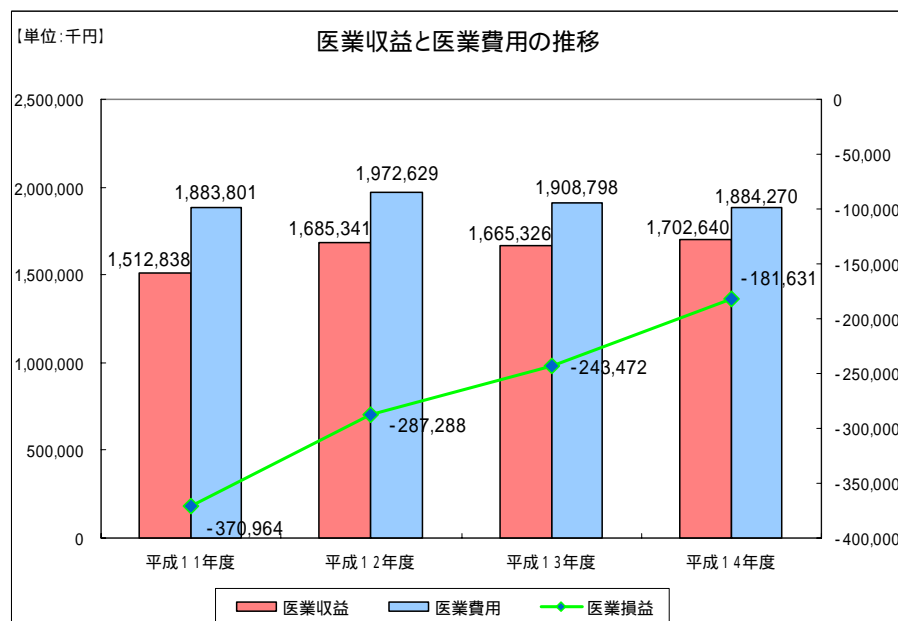
(1) 総収益と総費用の推移

総収益及び総費用ともに目立った推移はみられないが、総収益と総費用の差額が減少している。このことから経営状態が良化傾向にある。



(2) 医業収益と医業費用の推移

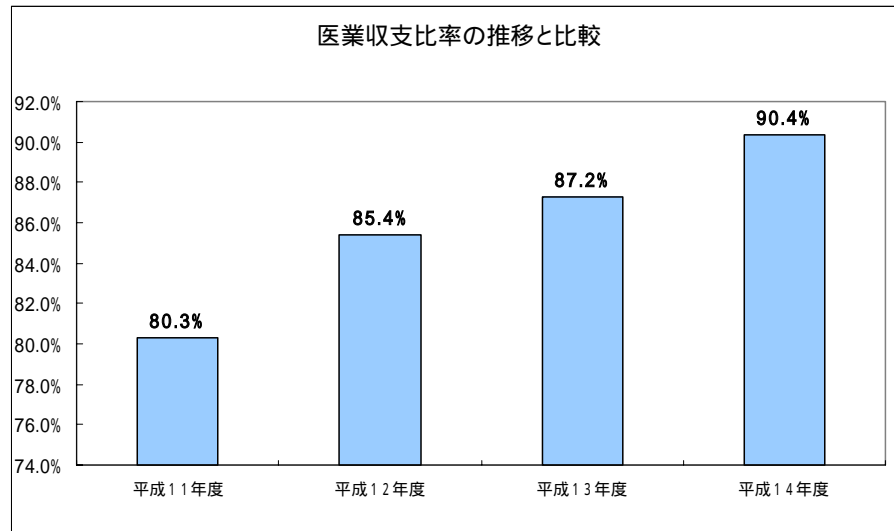
医業収益に目立った推移はみられないが、医業費用については減少している。このことから、経営状態が良化傾向にある。



(3) 医業収支比率及び医業収益に対する費用比率の推移

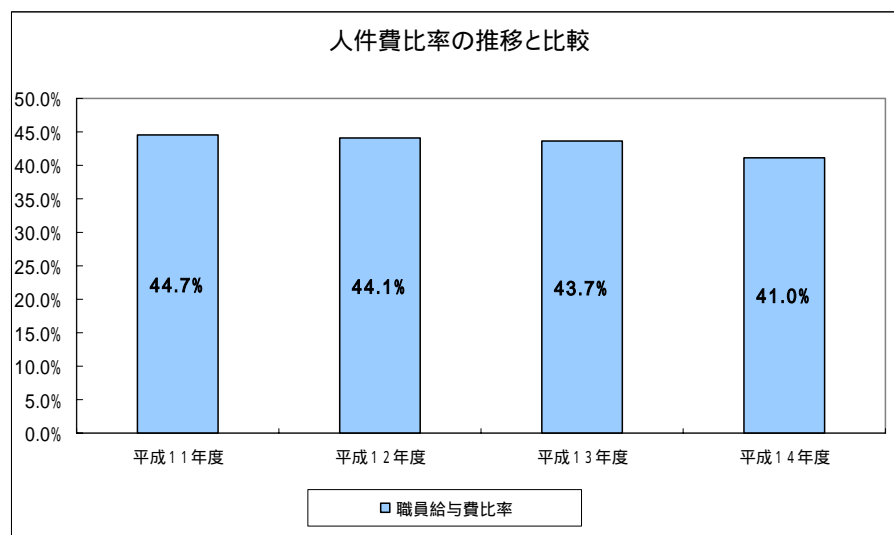
1) 医業収支比率の推移

医業収支比率は、平成14年度で90.4%と平成11年度の80.3%と比べ、約10ポイントと大幅に増加しており、良化傾向にある。



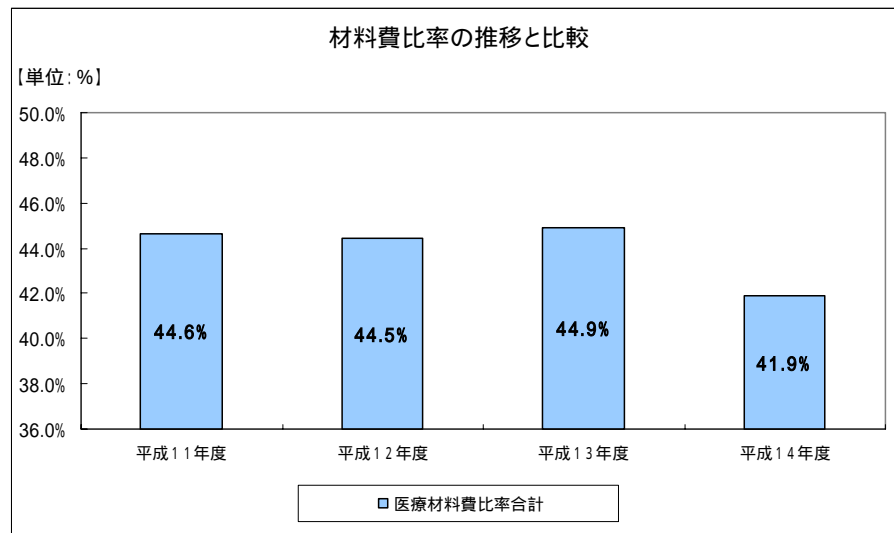
2) 人件費比率の推移

人件費比率は、平成14年度で41.0%と前年度の43.7%と比べ、2.7%減少しており、全体的に年々減少傾向にある。



3) 材料費比率の推移

材料費比率は、平成 13 年度まではほぼ同割合で推移していたが、平成 14 年度が 41.9%と、前年度に比べ 3.0%減少している。



(4) 救急医療費負担金の推移

救急医療費負担金は、平成 12 年度以降 300,000 千円と、過去 3 年は同額となっている。

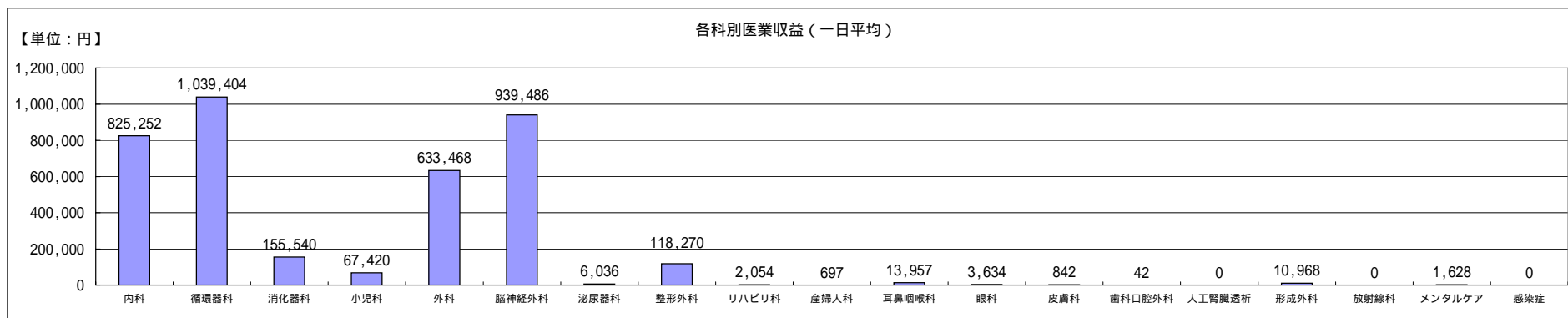
【単位：円】

	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度
救急医療費負担金	280,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000

(5) 各科別医業収益 (平成14年度)

[単位: 円]

区 分		内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	泌尿器科	整形外科	リハビリ科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	歯科口腔外科	人工腎臓透析	形成外科	放射線科	メンタルケア	感染症	合計
累計	入院 + 外来	301,216,844	379,382,355	56,772,245	24,608,463	231,215,866	342,912,478	2,203,271	43,168,680	749,608	254,368	5,094,228	1,326,403	307,258	15,310	0	4,003,452	0	594,316	0	1,393,825,145
	入院	279,665,011	374,599,177	51,973,497	18,157,094	221,004,460	341,099,670	1,405,436	38,096,021	749,608	0	3,902,638	605,764	133,360	0	0	2,813,799	0	0	0	1,334,205,535
	外来	21,551,833	4,783,178	4,798,748	6,451,369	10,211,406	1,812,808	797,835	5,072,659	0	254,368	1,191,590	720,639	173,898	15,310	0	1,189,653	0	594,316	0	59,619,610
一日平均	入院 + 外来	825,252	1,039,404	155,540	67,420	633,468	939,486	6,036	118,270	2,054	697	13,957	3,634	842	42	0	10,968	0	1,628	0	3,818,699
	入院	766,206	1,026,299	142,393	49,745	605,492	934,520	3,851	104,373	2,054	0	10,692	1,660	365	0	0	7,709	0	0	0	3,655,358
	外来	59,046	13,105	13,147	17,675	27,976	4,967	2,186	13,898	0	697	3,265	1,974	476	42	0	3,259	0	1,628	0	163,341
医業収益対構成比率	入院 + 外来	21.61%	27.22%	4.07%	1.77%	16.59%	24.60%	0.16%	3.10%	0.05%	0.02%	0.37%	0.10%	0.02%	0.00%	0.00%	0.29%	0.00%	0.04%	0.00%	100.00%
	入院	20.06%	26.88%	3.73%	1.30%	15.86%	24.47%	0.10%	2.73%	0.05%	0.00%	0.28%	0.04%	0.01%	0.00%	0.00%	0.20%	0.00%	0.00%	0.00%	95.72%
	外来	1.55%	0.34%	0.34%	0.46%	0.73%	0.13%	0.06%	0.36%	0.00%	0.02%	0.09%	0.05%	0.01%	0.00%	0.00%	0.09%	0.00%	0.04%	0.00%	4.28%



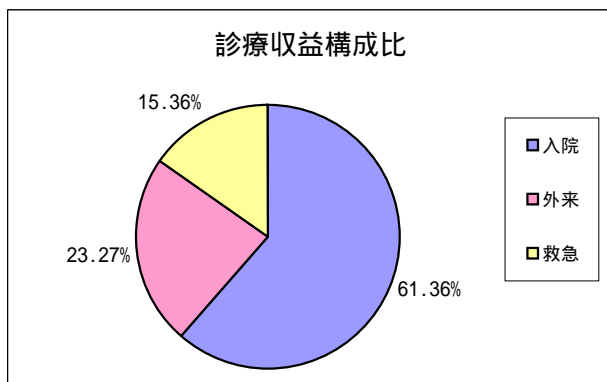
(6) その他医業収益 (平成14年度)

区 分		内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	泌尿器科	整形外科	リハビリ科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	歯科口腔外科	人工腎臓透析	形成外科	放射線科	メンタルケア	感染症	合計
累計	入院 + 外来	2,457,709	645,597	190,048	117,265	1,310,251	931,967	5,015	265,161	5,383	33,000	5,420	6,400	3,010	0	0	6,775	0	455	0	5,983,456
	入院	821,507	499,067	174,478	94,325	539,041	894,877	1,595	164,876	5,383	0	4,420	400	2,980	0	0	5,255	0	0	0	3,208,204
	外来	1,636,202	146,530	15,570	22,940	771,210	37,090	3,420	100,285	0	33,000	1,000	6,000	30	0	0	1,520	0	455	0	2,775,252

(7) 診療収益構成比 (平成14年度)

[単位:円・%]

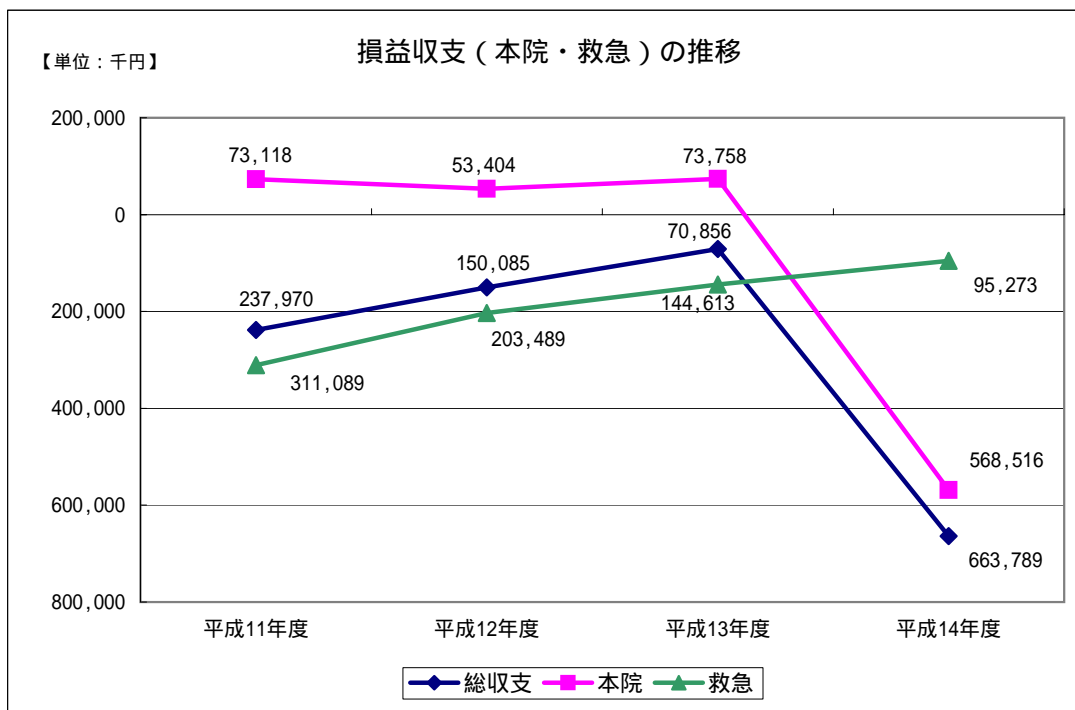
区 分		診療収益総計	構成比
構成比	入 院	5,567,413,273	61.36%
	外 来	2,111,461,470	23.27%
	救 急	1,393,825,145	15.36%
合 計		9,072,699,888	100.00%



(8) 損益収支の推移

[単位:円]

区 分		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
累計	総 収 支	237,970,479	150,084,761	70,855,627	663,789,480
	本 院	73,118,068	53,404,050	73,757,685	568,516,353
	救 急	311,088,547	203,488,811	144,613,312	95,273,127



平成14年度における本院の損失増加は、南病棟建設により減価償却費等が増加した影響によるものである。

救急における損益については、平成14年度で「95,273千円」となっており、過去4年をみても良化傾向にあることから、損失の減少に努めていることが伺える。

別紙 3

次回会議の開催について

次回会議の開催については、下記のとおり提案する。

記

1．開催日時

平成15年10月25日(土)
午後3時から

2．開催場所

宮城県古川合同庁舎1階大会議室

資料1 宮城県内自治体立病院の経営データによる統計指標 【平成13年度公営企業年鑑より】
【比較データは平成14年度数値】

宮城県における公的病院数

	病院数
県立病院	3
市町村立	32
合計	35

病床規模別病院数

	県立	市町村立	合計
50床未満		2	2
50～100床未満		10	10
100～200床未満		13	13
200～300床未満	1	3	4
300～400床未満	2	1	3
400～500床未満		1	1
500床以上		2	2
合計	3	32	35

統計指標（病院計）

	県立計	市町村立計	宮城県計	大崎医療圏計
1. 経常収支比率	95.0%	98.1%	97.6%	99.7%
2. 医業収支比率	73.3%	93.3%	90.7%	96.5%
3. 他会計繰入金対経常収益比率	28.1%	11.7%	13.9%	10.1%
4. 他会計繰入金対医業収益比率	39.3%	12.9%	15.7%	10.9%
5. 他会計繰入金対総収益比率	28.1%	11.6%	13.8%	10.0%
6. 実質収益対経常費用比率	68.3%	86.6%	84.1%	89.7%

P26 他会計繰入金対総収益比率をみると、古川が7.7%と唯一、県内市町村立及び大崎医療圏と比べ、比率が低く。（良好）

P27 実質収益対経常費用比率をみても、古川が87.6%と唯一県内市町村立を上回っており、その他3病院は下回っている。但し、大崎医療圏全体と比べると4病院全て下回っている。

統計指標（市町村立病院における病床規模別）

	500床以上	400～500床未満	100～200床未満	50～100床未満
1. 経常収支比率	100.8%		98.0%	96.6%
2. 医業収支比率	95.2%		93.5%	84.3%
3. 他会計繰入金対経常収益比率	13.9%		11.2%	17.2%
4. 他会計繰入金対医業収益比率	15.4%		12.3%	20.3%
5. 他会計繰入金対総収益比率	13.9%		11.0%	17.0%
6. 実質収益対経常費用比率	86.8%		87.0%	80.0%

P26 他会計繰入金対総収益比率をみると、岩出山が11.3%で50～100床未満と比べ、下回っており、良好といえる。鹿島台16.4%及び鳴子14.0%は100～200床未満の病床規模別統計指標を上回っている。

P27 実質収益対経常費用比率をみると、岩出山が82.5%で50～100床未満と比べ、上回っており、良好といえる。鹿島台81.3%及び鳴子81.1%は100～200床未満の病床規模別統計指標を下回っている。

診療単価（病院計）

	県立計	市町村立計	宮城県計	大崎医療圏計
1. 入院診療単価	¥26,225	¥25,432	¥25,520	¥23,412
2. 外来診療単価	¥11,921	¥8,002	¥8,437	¥7,857

P28 入院診療単価をみると、古川のみが46,854円と統計指標と比べ、大きく上回っている。
外来診療単価をみると、古川の8,888円が唯一市町村立計及び大崎医療圏の統計指標を上回っている。

職員一人あたり診療収入（病院計）

	県立計	市町村立計	宮城県計	大崎医療圏計
1. 医師	¥320,514	¥404,504	¥395,171	¥379,647
2. 看護部門	¥52,287	¥60,555	¥59,636	¥53,363

P29 医師は、4病院全てが市町村立計を下回っており、さらに大崎医療圏計を上回っているのは今岩出山のみである。
看護部門では、市町村立計と大崎医療圏を上回っているのは、古川のみである。

項目別収入構成比：診療収入に対する割合（病院計）

	県立計	市町村立計	宮城県計	大崎医療圏計
1. 投薬収入	7.7%	10.2%	10.2%	11.3%
2. 注射収入	10.1%	9.0%	9.1%	8.6%
3. 処置・手術	12.9%	11.6%	11.8%	10.1%
4. 検査収入	9.0%	7.5%	7.9%	7.4%
5. 放射線収入	6.3%	3.7%	4.2%	3.1%

P30 鹿島台が院内処方のため、投薬収入23.1%と統計指標を大きく上回っている。
注射収入は古川のみが14.4%と唯一統計指標を上回っている。
古川の処置・手術が25.9%と突出して高い。
検査・放射線収入は、鳴子以外の3病院が、大崎医療圏の統計指標を上回っている。

診療単価（市町村立病院における病床規模別）

	500床以上	400～500床未満	100～200床未満	50～100床未満
1. 入院診療単価	¥36,385		¥23,710	¥18,613
2. 外来診療単価	¥8,664		¥7,570	¥7,558

P28 鹿島台及び鳴子は100～200床未満の統計指標と比べ、入院診療単価・外来診療単価ともに下回っている。
若出山は、50～100床未満の統計指標と比べ、入院単価は上回っているが、外来単価は下回っている。

職員一人あたり診療収入（市町村立病院における病床規模別）

	500床以上	400～500床未満	100～200床未満	50～100床未満
1. 医師	¥460,620		¥426,317	¥330,132
2. 看護部門	¥78,352		¥54,418	¥57,210

P29 鹿島台及び鳴子は100～200床未満の統計指標と比べ、医師・看護部門ともに下回っている。
若出山は、50～100床未満の統計指標と比べ、医師は上回っているが、看護部門は下回っている。

項目別収入構成比：診療収入に対する割合（市町村立病院における病床規模別）

	500床以上	400～500床未満	100～200床未満	50～100床未満
1. 投薬収入	6.3%		10.4%	14.1%
2. 注射収入	11.2%		8.2%	7.8%
3. 処置・手術	23.4%		9.8%	7.2%
4. 検査収入	9.4%		7.3%	6.6%
5. 放射線収入	5.0%		3.7%	2.7%

資料2 4 病院及び1 診療所の経営分析に用いた用語の解説
(第2 回地域医療小委員会にて配布した資料に関する用語解説)

- 1 『総収益』 = 医業収益 + 医業外収益 + 特別利益
医業収益：入院収益、外来収益、室料差額収益、医療相談収益など
医業外収益：国・県からの補助金、市町村からの繰入金など
特別利益：固定資産売却益など

- 2 『総費用』 = 医業費用 + 医業外費用 + 特別損失
医業費用：職員給与費、材料費、経費、減価償却費など
医業外費用：企業債利息など
特別損失：非経常的な損失（損害賠償など）

- 3 『経常損益』 = 経常収益 - 経常費用
「経常収益」 = 医業収益 + 医業外収益
「経常費用」 = 医業費用 + 医業外費用

- 4 『医業収支比率』 = 医業収益 / 医業費用 × 100(%)
医業費用に対する医業収益の割合（この比率が高いほど経営的に良好であるといえる）

- 5 『人件費比率』 = 職員給与費 / 医業収益 × 100(%)
医業収益に対する職員給与費の割合

- 6 『材料費比率』 = 材料費 / 医業収益 × 100(%)
医業収益に対する材料費の割合

- 7 『他会計繰入金対総収益比率』 = 繰入金 / 総収益 × 100(%)
総収益に占める繰入金の割合

- 8 『実質収益対経常費用比率』 = (経常収益 - 他会計繰入金) / 経常費用 × 100(%)
繰入金を除いた収支比率（この比率が高いほど経営的に良好であるといえる）

- 9 『病床利用率』 = 年延入院患者数 / 年延病床数 × 100(%)
病床数に対する入院患者の割合（病床の稼働状況を表す比率）

- 10 『平均在院日数』 = 当年度中の延在院患者数
/ { 1/2 × (当年度中の新入院患者数 + 当年度中の退院患者数) }
入院 1 回当たりの平均滞在日数を厚生労働省指定の上記式にてもとめたもの
- 12 『入院診療単価』 = 入院収益 / 年延入院患者数 × 100(%)
入院患者 1 人 1 日当たりの診療収益
- 13 『外来診療単価』 = 外来収益 / 年延入院患者数 × 100(%)
外来患者 1 人 1 日当たりの診療収益
- 14 『職員 1 人 1 日当たり診療収入』 = (入院収益 + 外来収益) / 年延職員数 × 100(%)
医師及び看護師 1 人 1 日当たりの診療収益

- P30 鹿島台及び鳴子の注射収入が100～200床未満の統計指標を下回っている。
 全体的に鹿島台・岩出山・鳴子ともに処置・手術が低い。
 検査収入は、岩出山が50～100床未満の統計指標を上回っている。

項目別構成比（費用）：医業収益に対する割合（病院計）

	県立計	市町村立計	宮城県計	大崎医療圏計
1. 職員給与費	70.4%	52.1%	54.1%	52.1%
2. 材料費	16.0%	28.0%	28.1%	20.8%

- P31 職員給与費比率は、古川が42.7%と唯一統計指標を下回っている。
 薬品費比率は、鹿島台が院内処方のため25.0%と唯一統計指標を上回っているが、逆に鳴子は4.5%と極めて低い。
 医療材料費は、鹿島台及び岩出山が市町村立計と同数値である他は、全て下回っている。

項目別構成比（費用）：医業収益に対する割合（市町村立病院における病床規模別）

	500床以上	400～500床未満	100～200床未満	50～100床未満
1. 職員給与費	53.0%		54.5%	57.1%
2. 材料費	15.4%		18.0%	24.6%

- P31 職員給与費は、鹿島台・鳴子・岩出山ともに同規模統計指標を上回っており、人件費比率が高いと言える。
 薬品費は、前項同様に、鹿島台が院内処方のため25.0%と唯一統計指標を上回っており、鳴子が4.5%と極めて低い。
 医療材料費は、鳴子のみが5.2%と唯一統計指標を下回っている。

注) 400～500床未満の統計指標については、宮城県内に古川市立病院のみであり、規模別の比較指標とならないため未掲載。

資料 3

介護保険制度の概要

介護保険制度について

介護保険の加入者は原則として四十歳以上の国民全員です。また、サービスを受けられるのは、介護や生活支援が必要な六十五歳以上のお年寄り、初老期痴呆などで介護が必要となった四十歳から六十四歳までの人です。

六十五歳以上のお年寄りの保険料は、五段階の所得階層別で、金額は市町村ごとに異なっており、年額十八万円以上の年金の受給者は年金から保険料が引かれ、それ以外の人は個別に市町村に支払うこととなります。

四十歳から六十四歳までの人の保険料は、現在加入している医療保険の算定方式で決定し、保険料は、健康保険組合の加入者は給料から引かれ、国民健康保険の加入者は個別に市町村に支払うこととなります。

在宅介護サービスの費用は、要介護度ごとに上限額が設定され、超過分は自己負担となります。また、限度額の範囲内でもサービス費用の一割は利用者負担となります。サービスにかかる経費から利用者の自己負担分を除いた金額の半分は国や地方自治体の公費、もう半分が保険料で賄われます。

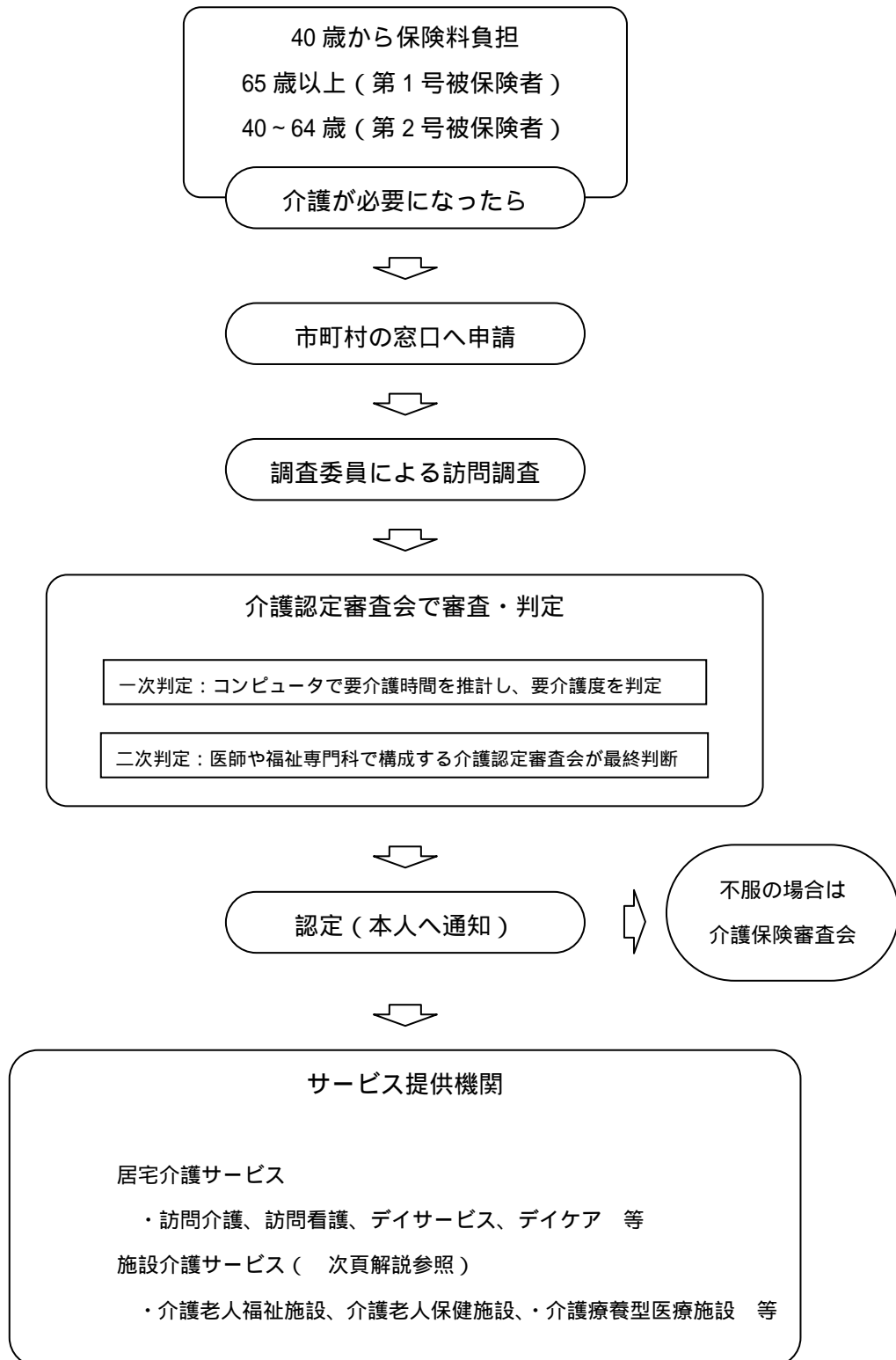
介護保険でサービスを受けるには、市町村の窓口に出る必要があります。市町村は保険適用の可否、介護が必要な度合い（要介護度）を認定する。

認定を受けたお年寄りは、自治体やサービス業者などの介護支援専門員（ケアマネジャー）により、介護サービス計画（ケアプラン）を作成します。

ホームヘルプ（訪問介護）や訪問看護、デイサービス（通所介護）などの在宅サービスと、施設による介護サービスが利用できます。

対象施設は、寝たきりや痴ほうで常に介護が必要なお年寄りが入る特別養護老人ホーム、病院と特別養護老人ホームの中間的な施設である老人保健施設、慢性病患者を預かり介護職員も手厚く配置した病床である療養型病床群などの医療施設とされています。

介護保険における申請・審査・認定の流れ



要介護認定基準

要介護度	心身の状態例
要支援	日常生活はできるが、歩行などが不安定。
要介護 1	歩行・立ち上がりなどが不安定。入浴や排泄に一部手助けが必要。
要介護 2	歩行・立ち上がりが一人では出来ない。入浴や排泄に手助けが必要。
要介護 3	排泄、入浴、衣服の着脱など日常生活に全面的な手助けが必要。
要介護 4	食事や入浴、排泄、衣服の着脱など日常生活に全面的な手助けが必要。
要介護 5	生活全般にわたって全面的な手助けが必要。

主な施設介護サービスの解説

区 分	主なサービスの内容
介護老人福祉移設 (特別養護老人ホーム)	<p>自宅での生活が困難な寝たきりや痴呆性の高齢者(要介護1以上)を介護する施設。</p> <p>新型特養は従来の4人部屋ではなく、全室個室の少人数制ユニットケアが基本の施設。</p>
介護老人保健施設	<p>症状が比較的安定している高齢者(要介護1以上)が、在宅復帰を目指して、集中的なリハビリテーションや看護、医療行為等を受ける、病院と在宅の中間的施設。</p>
介護療養型医療施設 (療養病床)	<p>長年に渡って療養を必要とする高齢者(要介護1以上)が入院して介護サービスを受ける医療機関。</p> <p>長期療養型の療養病床と、精神症状や行動異常の高齢者が入院する老人痴呆疾患療養病棟がある。</p>

平成15年3月17日

岩出山町議会

議長 鹿野虎夫 殿

提出者 岩出山町議会議員 笠原校蔵

賛成者 岩出山町議会議員 笠森健

” 佐々木 惟夫

” 内田 政明

” 千葉 基雄

” 高橋 猛

” 氏家 善男

岩出山町民病院の早急な新病院建設を求める決議について

このことについて、岩出山町議会会議規則第13条の規定により、別紙のとおり決議案を提出する。

岩出山町民病院の早急な新病院建設を求める決議

これまで、産婦人科を除き岩出山町内で、唯一入院施設を持つ岩出山町民病院は、町民医療と福祉の向上に大きな役割を果たしてきた。このことは、平成13年度の外来患者数の47.7%、入院患者数の60.4%を町民が占めているという利用状況からも伺える。

しかし、病院施設の老朽化が進み、日常診療を維持していくことが、すでに限界にきている現況にあることを考えると、新病院建設は先送り出来ない状況下にある。

町民は、診療科目を拡充し、現規模程度の病院の一日も早い建設を望んでおり、やがて訪れる超高齢化社会に向けた対応からしても、本町の医療福祉の中核となる病院建設は、最優先する課題である。

よって、町は、町民の不安と動揺をすみやかに解消し、将来に禍根を残さないためにもあらゆる可能性を探求して、新病院建設を実現することが急務である。

以上、決議する。

平成15年3月17日

岩出山町議会